

※このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。
【想定しうる最大規模の降雨量】

安平川	24時間総雨量	439mm
支安平川	1時間雨量	90mm
遠浅川	1時間雨量	60mm
ニッポロ川	1時間雨量	110mm

凡 例

洪水想定浸水深

10.0m～20.0m未満の区域
5.0m～10.0m未満の区域
3.0m～ 5.0m未満の区域
0.5m～ 3.0m未満の区域
0.5m未満の区域

土砂災害警戒区域

- 土石流
- 特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊

指定避難所	指定避難所
洪水時避難所・避難場所	土砂災害時避難所・避難場所
地震時避難所・避難場所	字界
国 道	道 道

10.0m～20.0m未満の区域	
5.0m～10.0m未満の区域	2階の屋根以上が浸水する程度
3.0m～ 5.0m未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度
0.5m～ 3.0m未満の区域	1階の全てが浸水する程度
0.5m未満の区域	大人の膝までつかる程度



どのように活用したら良いの？

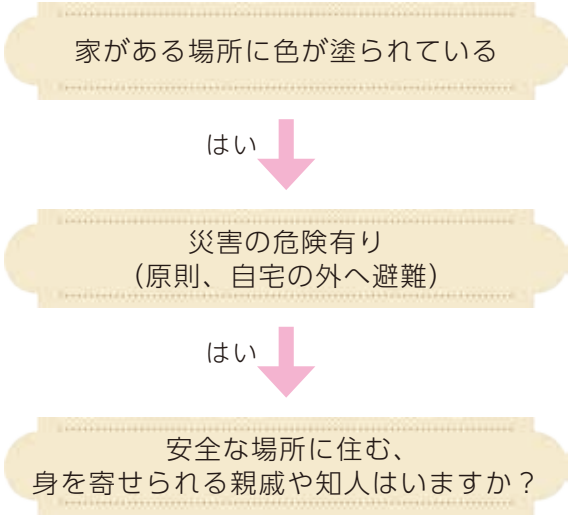
「1000年に1度の大雨が降ったらどれくらい浸水するのか」、「土砂災害が発生したらどのくらいの範囲で崩れるのか」が、色によって分けられています。

自宅の位置と避難する場所、そして自宅以外でよく訪れる場所などを確認しながら、安全な避難ルートを家族や知人と話し合ってみましょう。

※実際のハザードマップでは色分けがされており、色を見分けることが得意でない方への施し（色のバリアフリー）もなされています。

まずはハザードマップで、自分の家がどこにあるのか探してみよう！

避難する？しない？ その目安は？

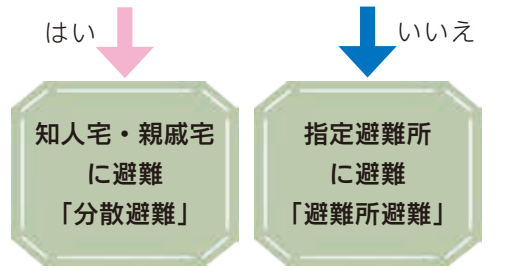


いいえ → 色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

可能な範囲で在宅避難

自宅に留まるなら 2階以上へ！

- 例外あり
- 浸水の危険があっても、
- ①洪水により家屋が倒壊または崩壊してしまう恐れが高い区域の外側にある
 - ②浸水する深さよりも高いところにある
 - ③浸水しても水が引くまで我慢ができ水・食糧等の備えが十分にある場合は、自宅に留まっでの安全確保も可能



安平町防災ハザードマップについては
問合せ 総務課情報グループ ☎ 2511

ハザードマップは、ホームページからも確認できます
<https://www.town.abira.lg.jp/kurashi/bosai>